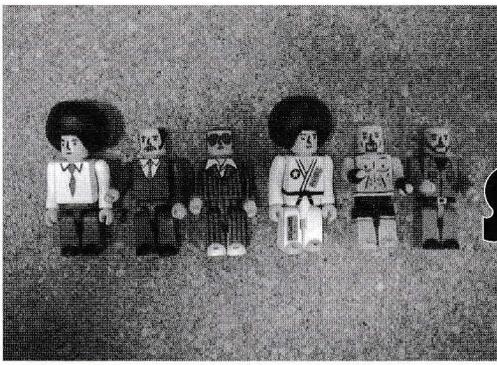


stage



▶写真は「花くまゆき」の「キューリン」
各480円でレック、二階のレッドハウス
で好評発売中!!

お久しぶりです。元山田です。毎年この時期にひとり芝居をやつて、自分の決算をしました。

それが、今月は趣向を変えまして「JIU-JITSU(柔術) ナイト」になる訳です。なる予定な訳です。

そう、芝居ではありません。格闘技の試合でございます。もちろん私も闘う予定です。だんなの影響です。

知っている人は知っている、花くまゆきさくらの四コママンガで「男の密かなたのしみ」というのがあります。はげ頭のお父さんが自宅のソファでにやにやしている。・・・格闘家になっているお父さん・・・自分が選曲した曲で入場・・・圧倒的強さで敵を倒す・・・勝利者としてレフェリーに手を上げられている・・・小さな子供がにやにやしているお父さんの脇で

「・・・パパまた妄想中だよ」とお母さんに告げ口・・・
○
そしてうちのだんなは、このマンガを見ながらニヤニヤしています。何回も私に、
「これ、面白いよね」と見せます。その度に、
「前も聞いたよ」と、優しく微笑み返します。

きつと闘う男なら誰でも憧れる場面なのでしょう。

普段の地味で孤独なトレーニングの先にこの四コママンガがあると思うと(少なくともだんなの場合)、闘うマッチョな男達に、不思議な親しみが湧いてくるのを私は禁じえません。

つまるところ
「見られてなんぼ」
みたいなところかなあと、思ってしまう訳です。

縁あって女子ラグビーにも顔を出している私。後ろにしかパスできない事を練習中に知った私は慌てて友人にビデオを借りました。

その中でまた、花くまゆきさく的なものに出会ってしまったのです。それが彼。

「天畑大介という選手」
同級生であるジャイアンツの上原が先に人気が出てすこし悔しい思いをしていた彼は自分もいいトライを決めているのになかなかスポーツ新聞の一面を飾れない・・・
「なぜですか?」
と彼はカメラマンに聞いたんです。ね。すごい面白いですこの時点で彼は。

そしたらこう言われました。
「君は足が早くて、ぶっちぎりでトライしてしまう、だからその瞬間は一人しかカメラに取まらない。それでは絵にならないんだ」と。そこで大畑選手は考えた。そして彼は、トライする時飛んだので、横一直線に、びゅーんと!!
・・・するとどうでしょう、翌日一面です!

ストイックに勝利を目指すラグーマンの中にもこんな意味でふざけたやつがいると。
私は、びつくりしましたね。そしてそんなラグビーに興味を湧きました(ちなみに八戸の女子ラグビーは東北でトップだそうです)。

つまり私は今、演劇の枠を超えて、未知なる分野であるスポーツ界の住人達を潜入取材しているようなものであります。

そしていつかそれを自分にしかできない方法で、演出できないかと、そんな事を考えている訳であります。

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用

7月のFriday Amusement Negative Shop

■7月5日(第439回)
安達良春プラスワンシアター
タイトル未定

■7月12日(第440回)
未定

■7月19日(第441回)
未定

■7月26日(第442回)
「パレストラムちのくプレゼンツ
JIU-JITSU night」開演/20:30

○FANS番外篇
7月6日(土) 今村元ライブ
開場/18:30 開演/19:00

※全て午後7時30分、料金500円
チケットはスペースベンにて販売

Space BEN

駐車場はございませんので、車での来場はご遠慮下さい。(近くに西町書店駐車場有り)

☎スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎&FAX 43-9876

※スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

※スペースベンでは、毎週月曜日午後7時30分から、沼尾美也子さんに
よりますジャズダンスレッスンを開催しています。
一度見学にいらして下さい。

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても書き出せない
あなた、一度「物語」を書いてみませんか? FANSでは、そんな方の思いを
大切に舞台にのせてみたいと思っております。

これは、ある一つの挑戦です。演劇的なるものの特権と、スポーツ的なるものの特権の融合です。あまり意味ないです、ただ難しい事を言ってみただけです。

と、まあ言ってみればこれは私の密かなたのしみなのであってその場面を想像して、今もニヤニヤしているのではありません(しかし、マットを買う費用が足りなければ、別な企画に変更です)。なんとか叶えたいものです。

興味のある方はぜひ、御来場を!

7/7(日) 八戸市武道館にて
第一回柔術大会開催!
10:15スタート
三人一チームの団体トーナメント!

格闘技の街八戸で開催される初の柔術大会です。入場無料!

演劇空間としてのスペースベンを、格闘技の試合会場、それも「男の密かなたのしみ」である、自分で選曲した入場曲を大音量でかけながら、スポットライトを浴びてマットに登場する・・・そんな事ができるスペースとして活用